

感染状況・医療提供体制の分析(3月1日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月22日時点)	現在の数値 (3月1日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	2179人 (116.1人)	1283人 (68.4人)	↓	レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要 陽性者は <u>人口10万人当たり68人</u> と減少傾向継続。季節性インフルエンザ注意報発令中。 全国的にも感染が縮小し、昨秋の感染拡大前の水準を下回る状況。今後も、免疫の減衰や変異株の置き換わりの状況、人流の増加、社会活動の活発化などを注視しながら、感染状況を見ていく必要がある。マスクは個人の判断に委ねられる時期が近づいたが、感染を広げないよう、また感染から守るためマスクの適正使用が必要となる。
		60歳以上 (総数に占める割合)	464人 (21%)	301人 (23%)	↓	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	809人	553人	↓	
		倉敷市保健所	469人	243人	↓	
		備前保健所	198人	96人	↓	
		備中保健所	263人	158人	↓	
		備北保健所	53人	29人	↓	
		真庭保健所	62人	27人	↓	
		美作保健所	230人	101人	↓	
その他	95人	76人	↓			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	128人 (21%)	114人 (18%)	↓	レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④宿泊療養者数	18人	13人	↓	感染者数減少を受け、入院患者数も減少。救急搬送困難事案など、医療ひっ迫の状況は改善しつつある。	
	⑤自宅療養者数	2094人	1270人	↓		
	⑥重症者数	5人	7人	↑		